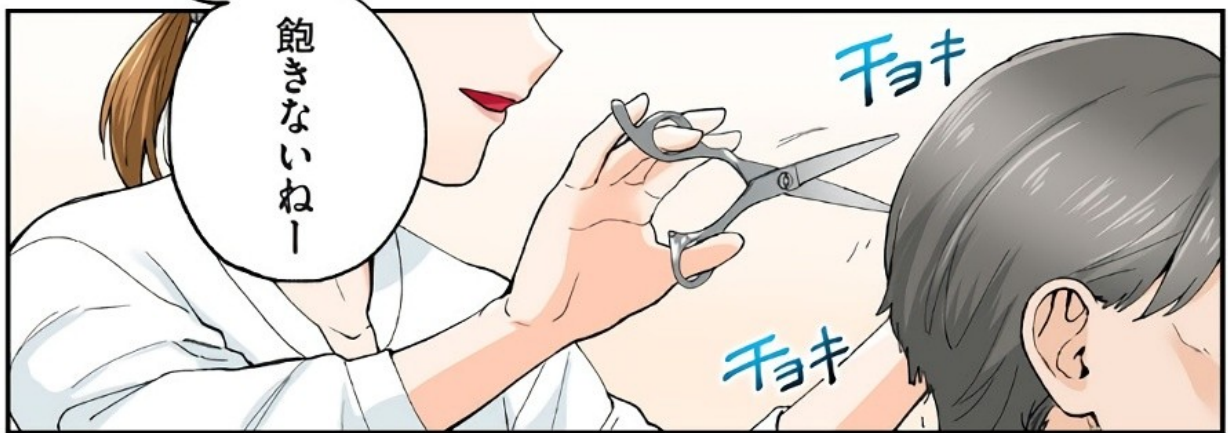
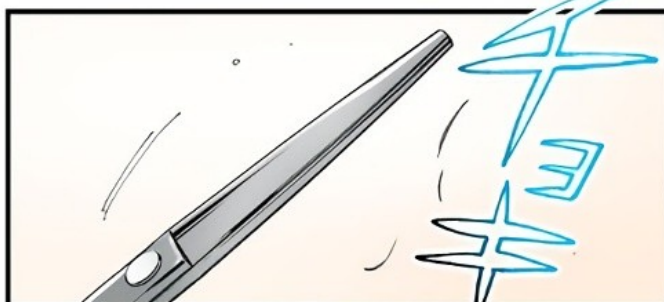
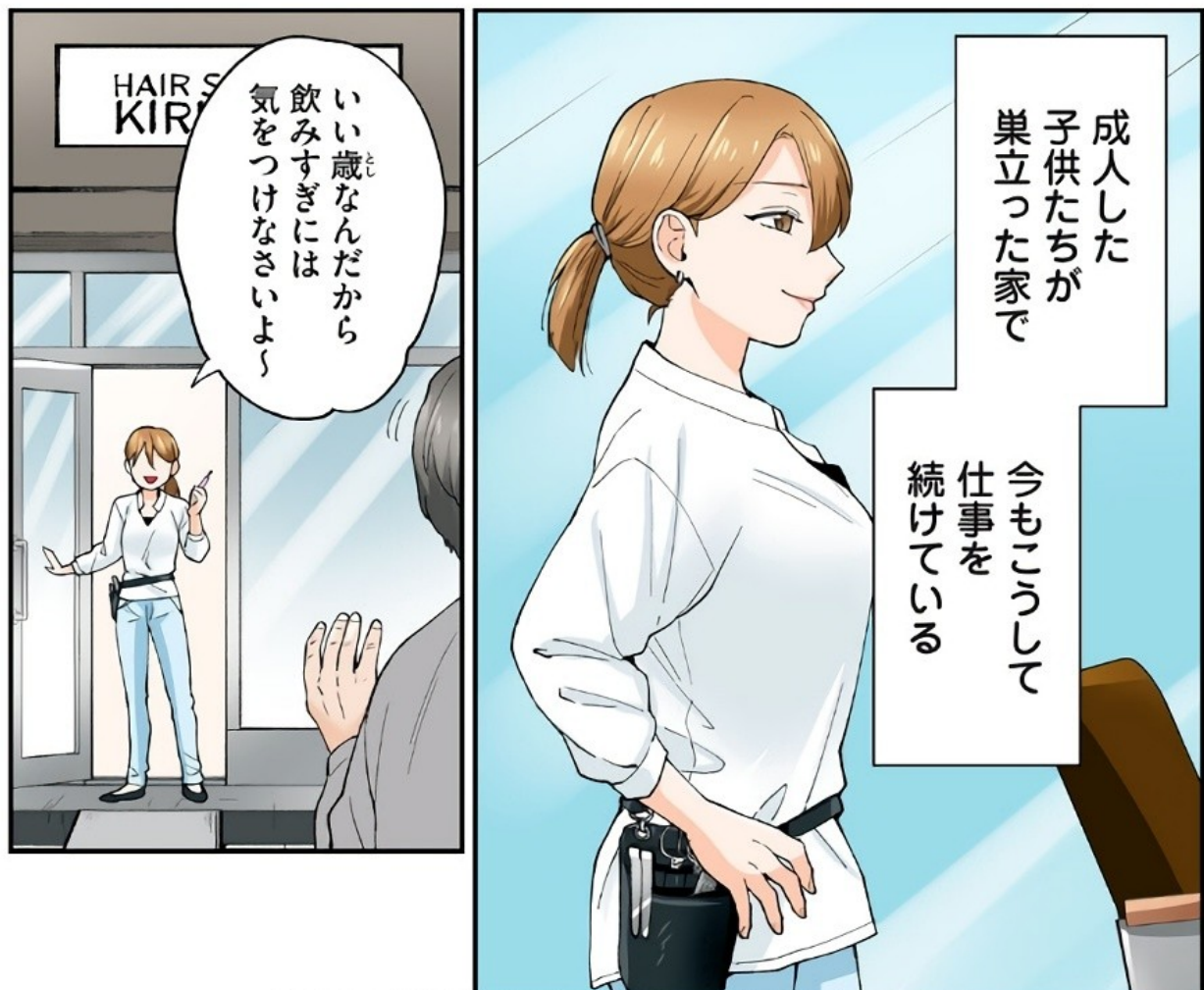
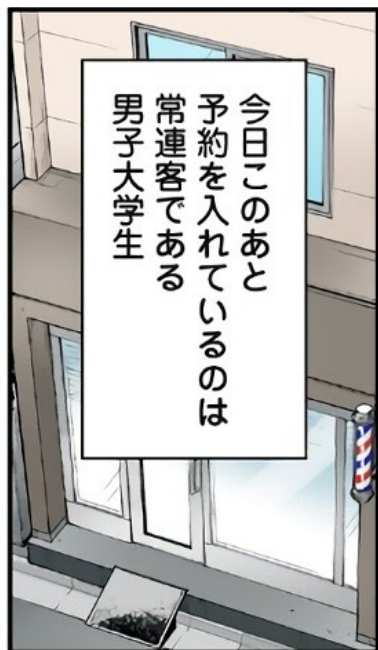
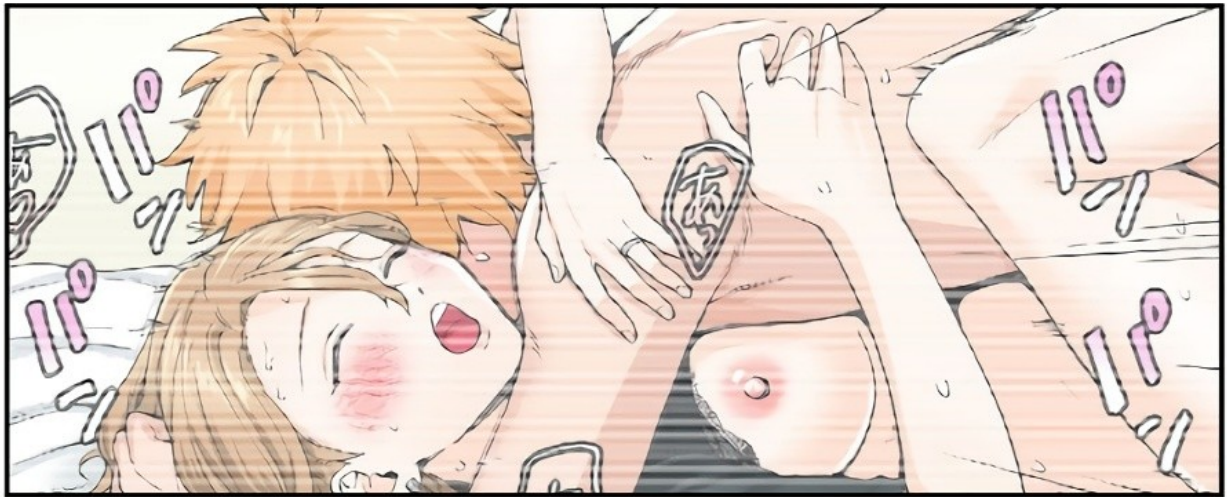












それ以来
その彼には定期的に
予約を入れてもらっ
ようになっていた

午後遅めの…
夕食前の時間



いくら人肌が
恋しかったからって
まさか息子よりも
年下の子と…ねえ



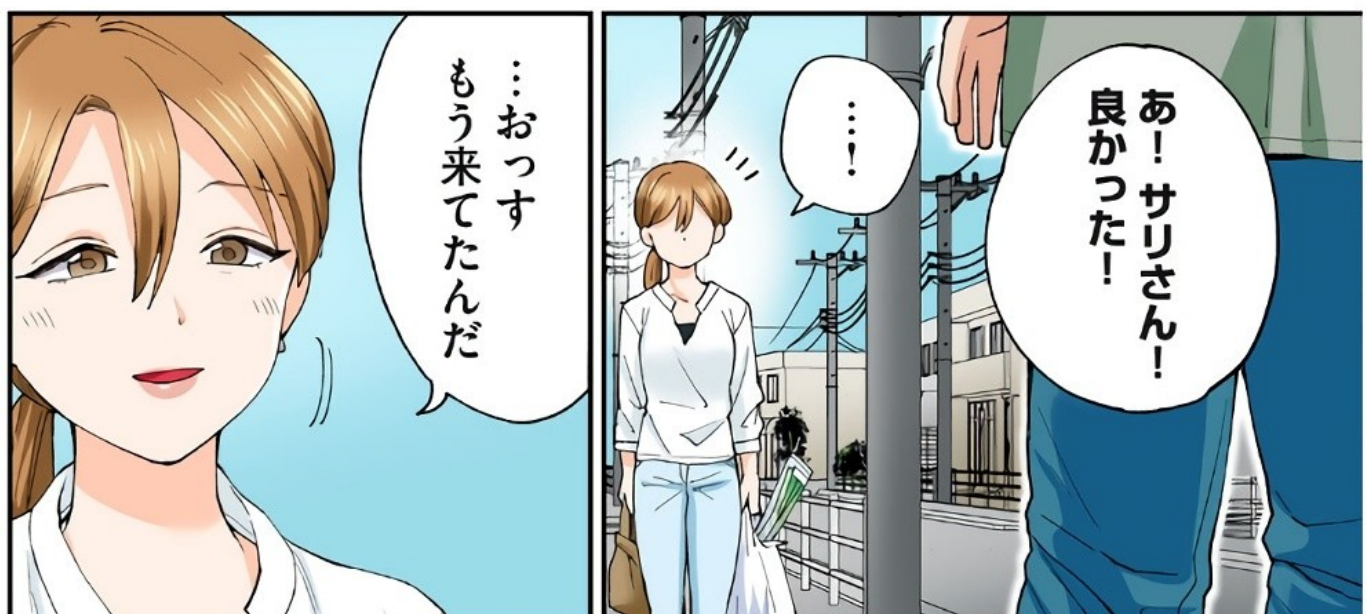
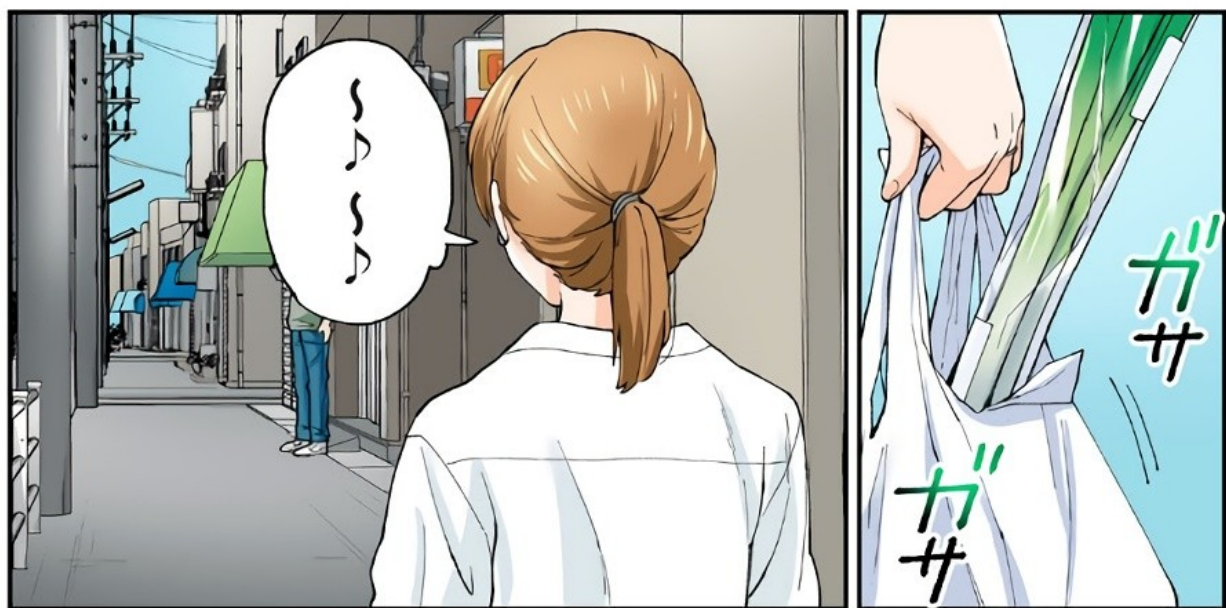
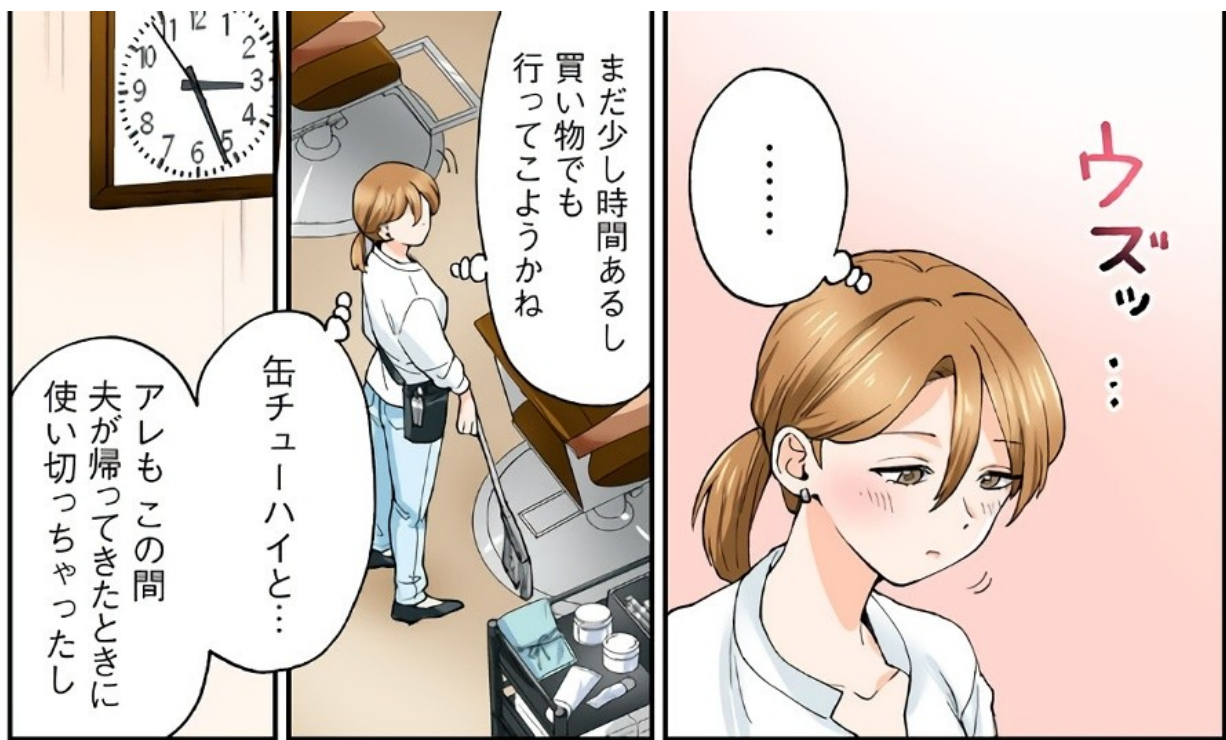
ツヨシ…
待って…♥

そんなガツツかれ
たら…私…
身体が持たな…
ツヨシ♥



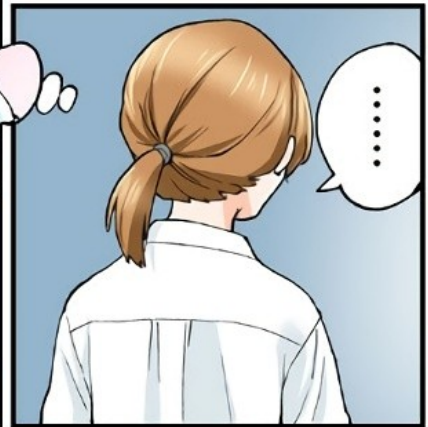
今夜も…
食べて行く
でしょ？

は…はい
ご馳走に
なります

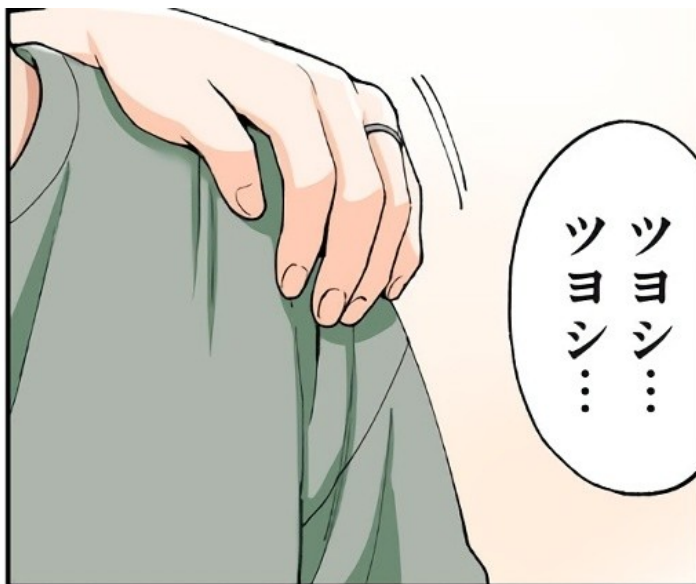




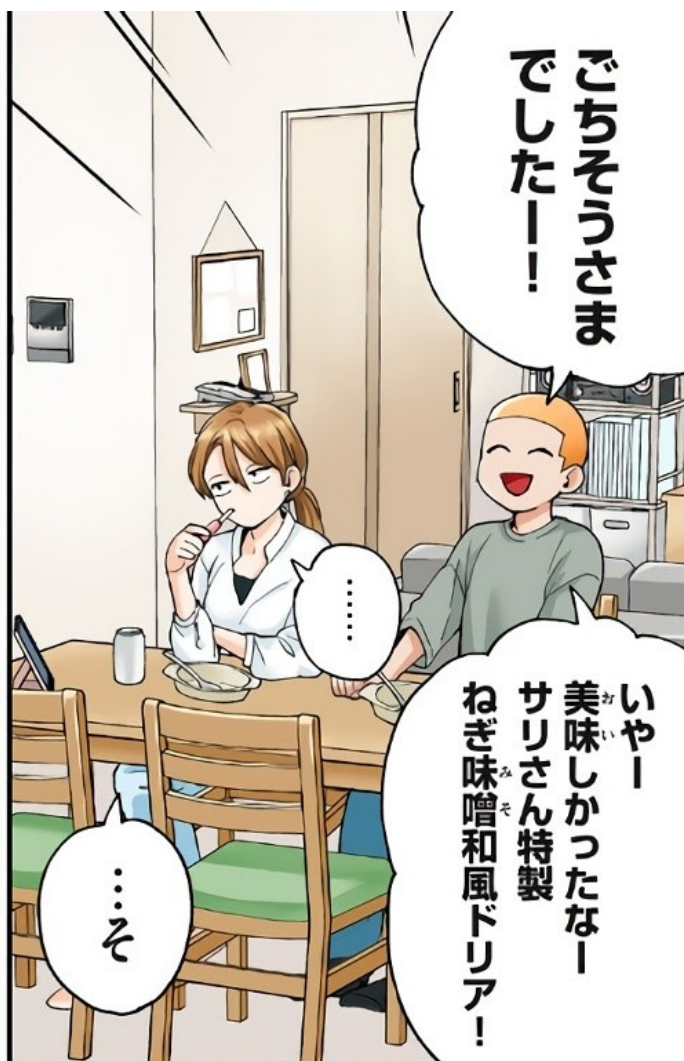


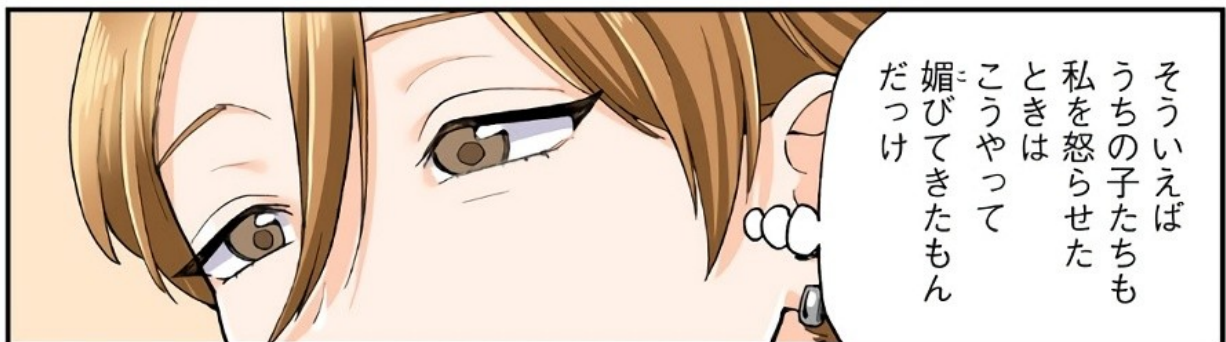




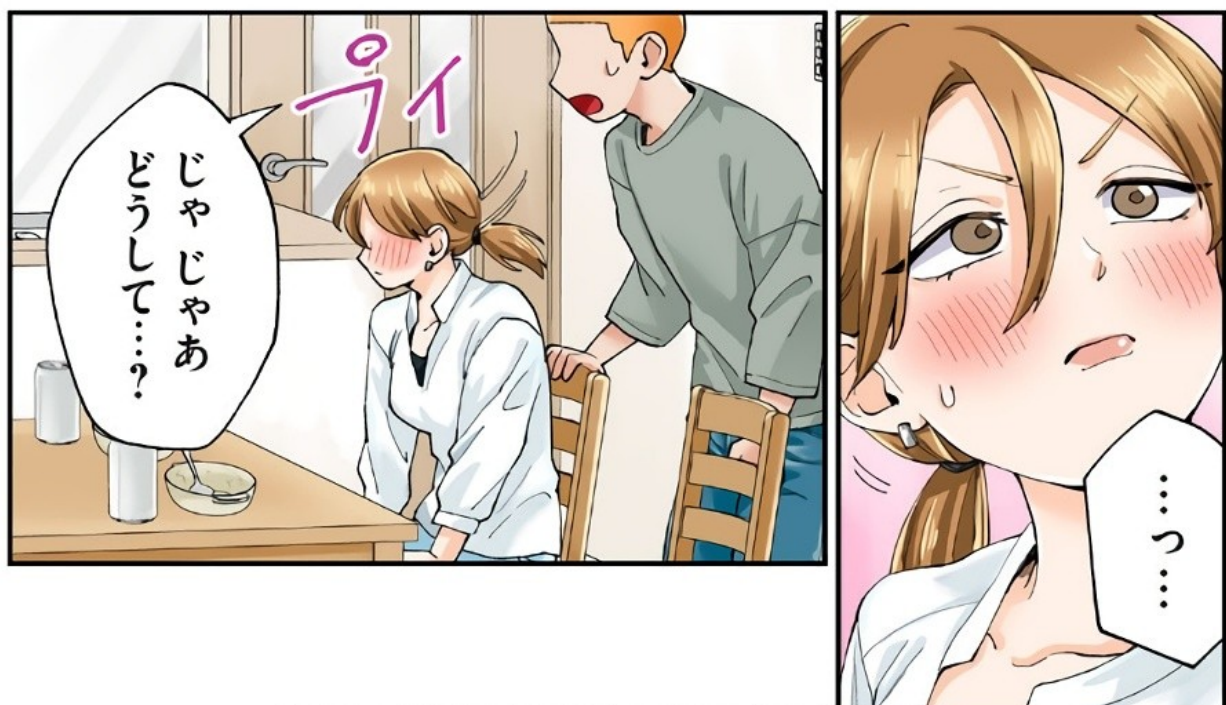


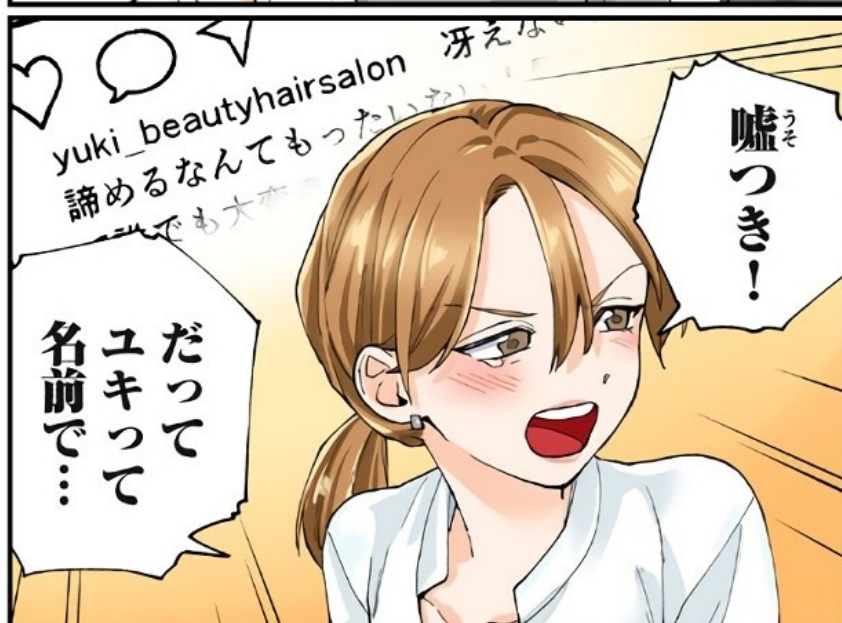




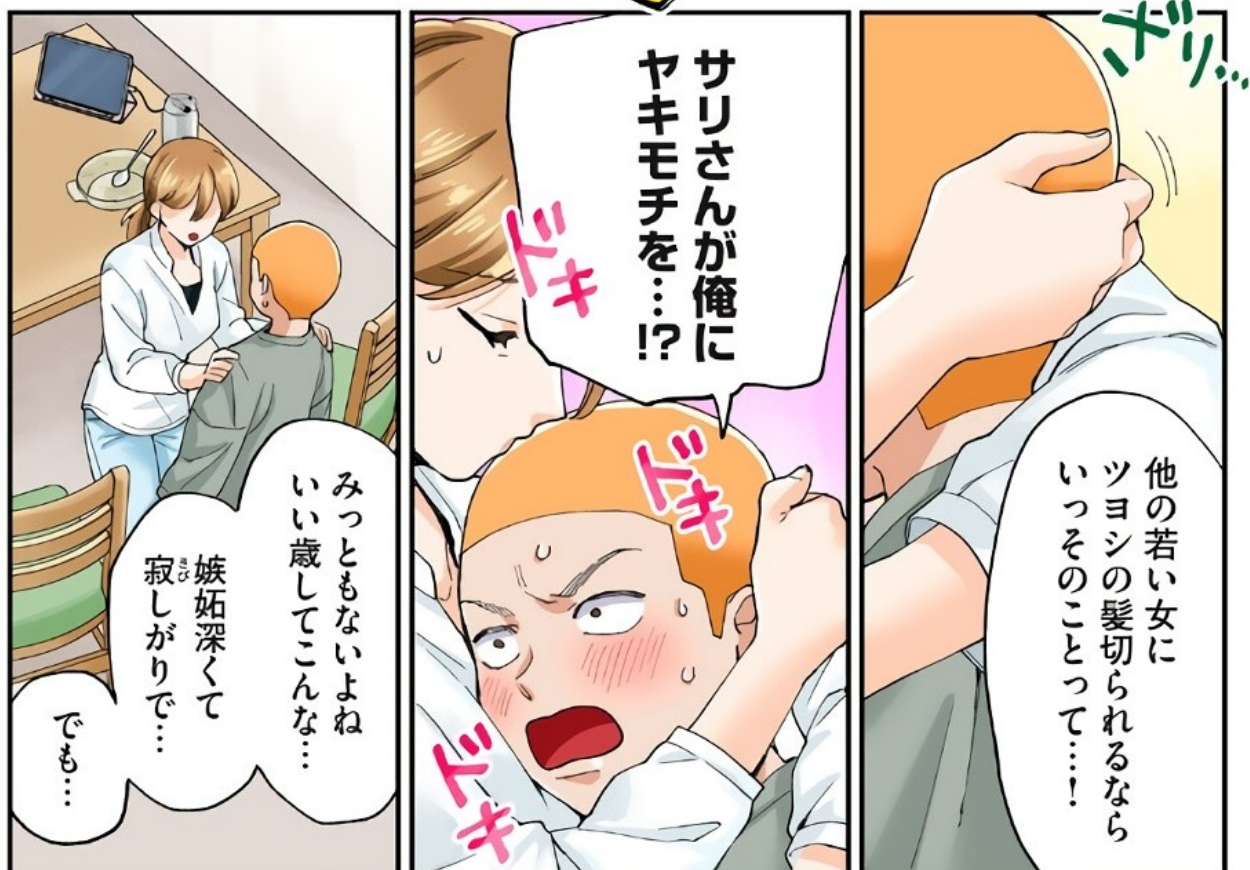


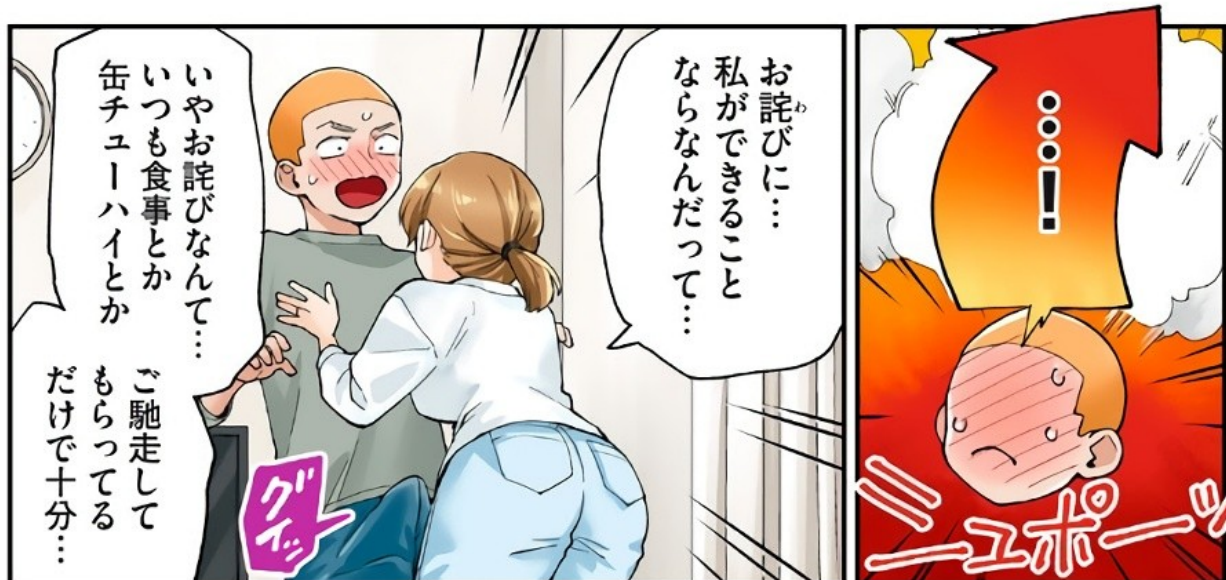






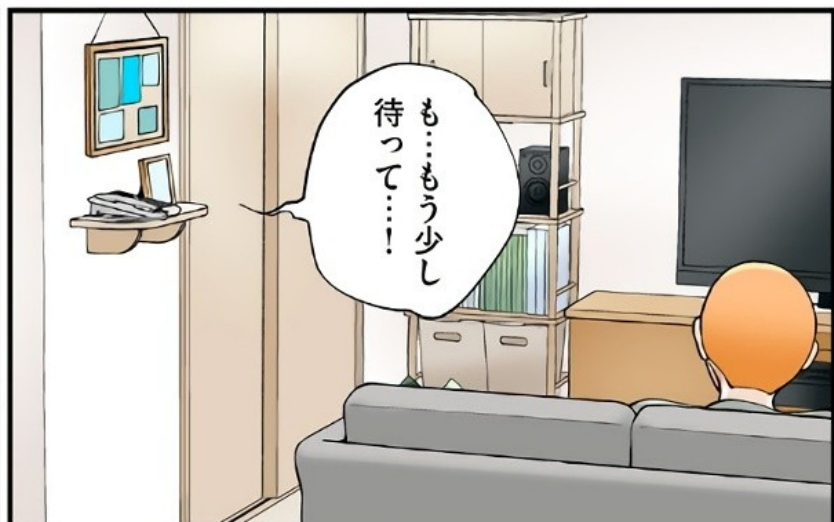
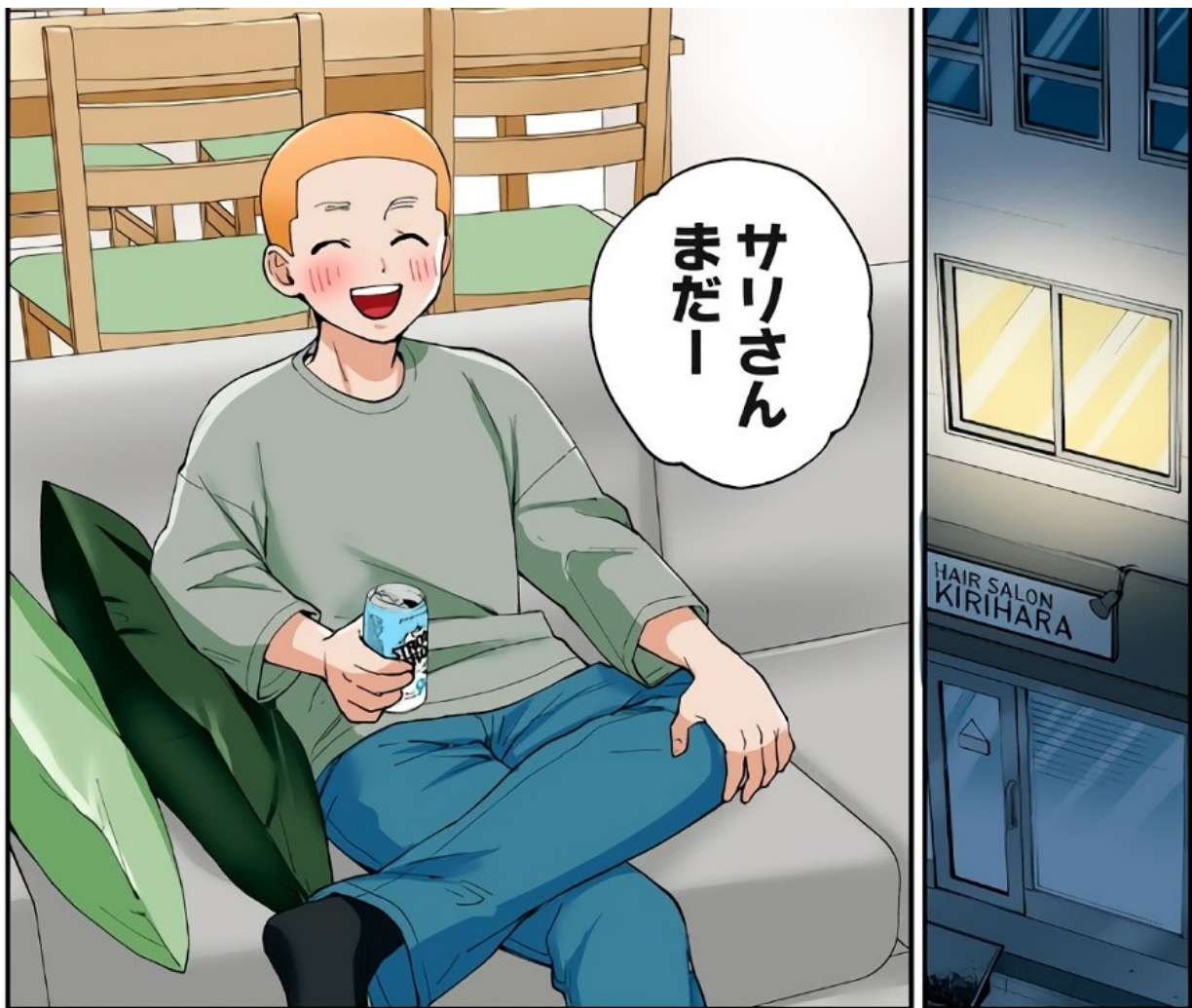


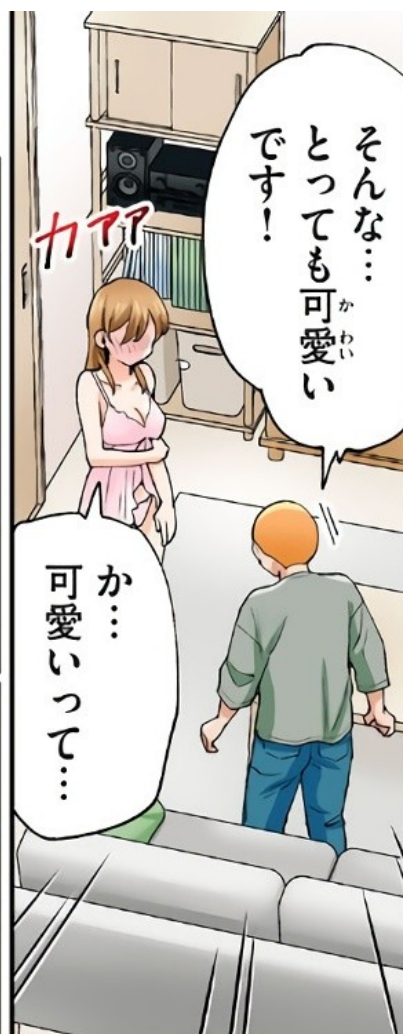
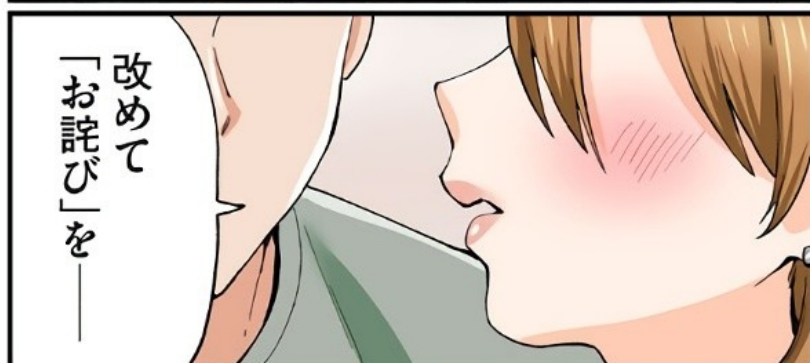
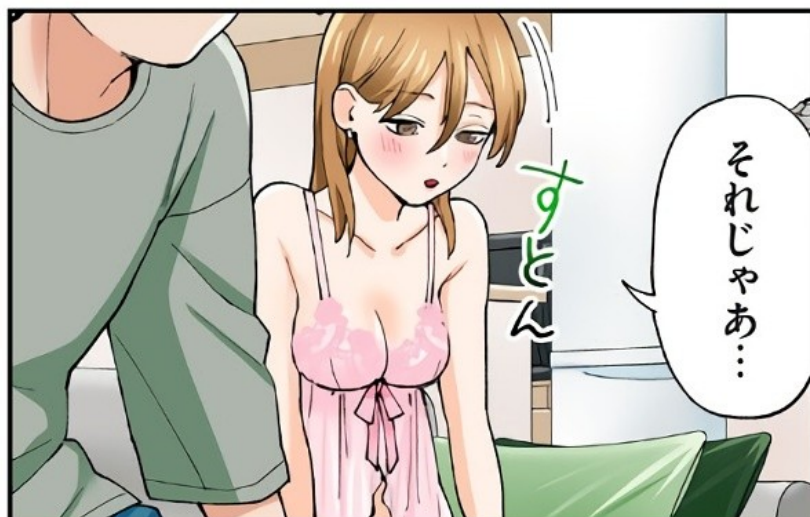


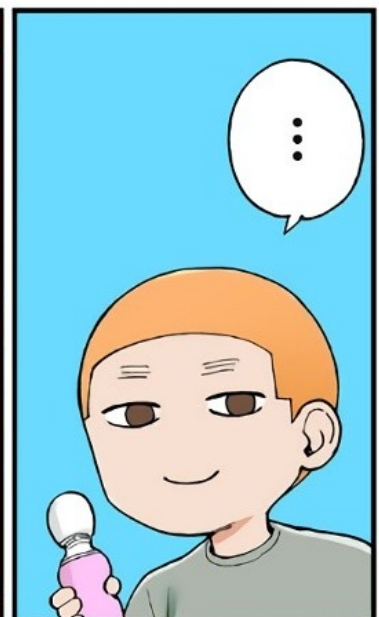


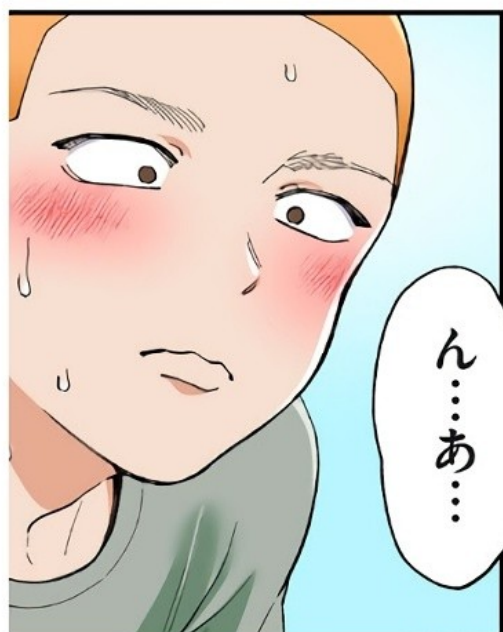


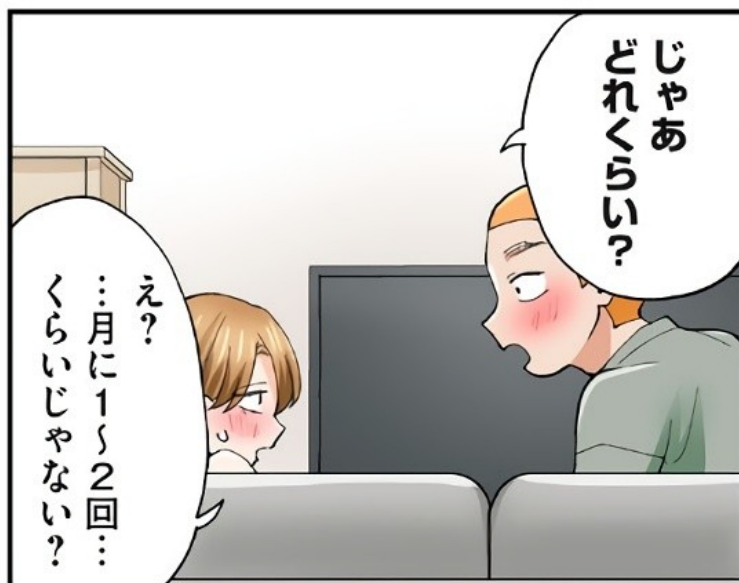
人妻の唇は
缶チューハイの
味がして

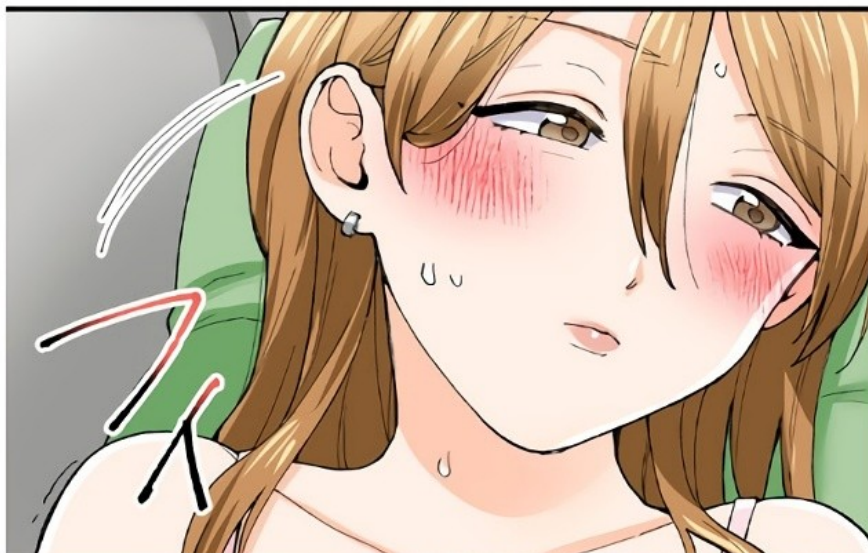


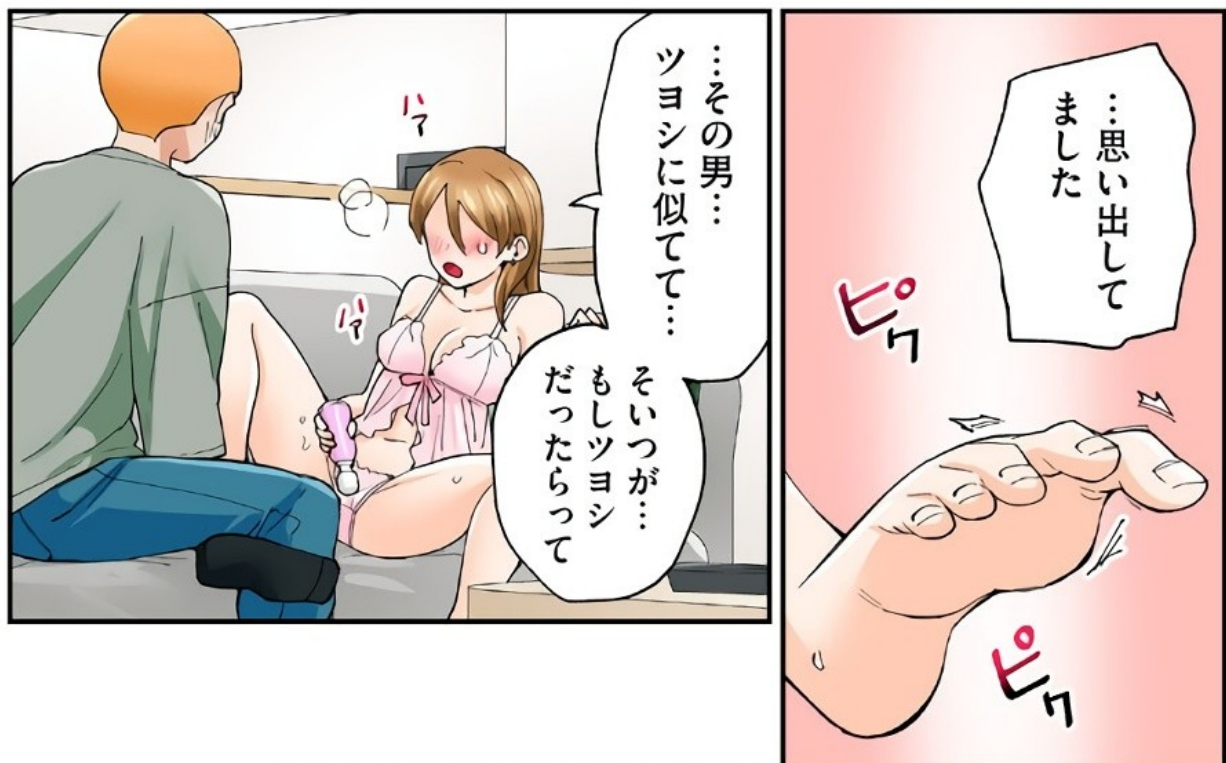
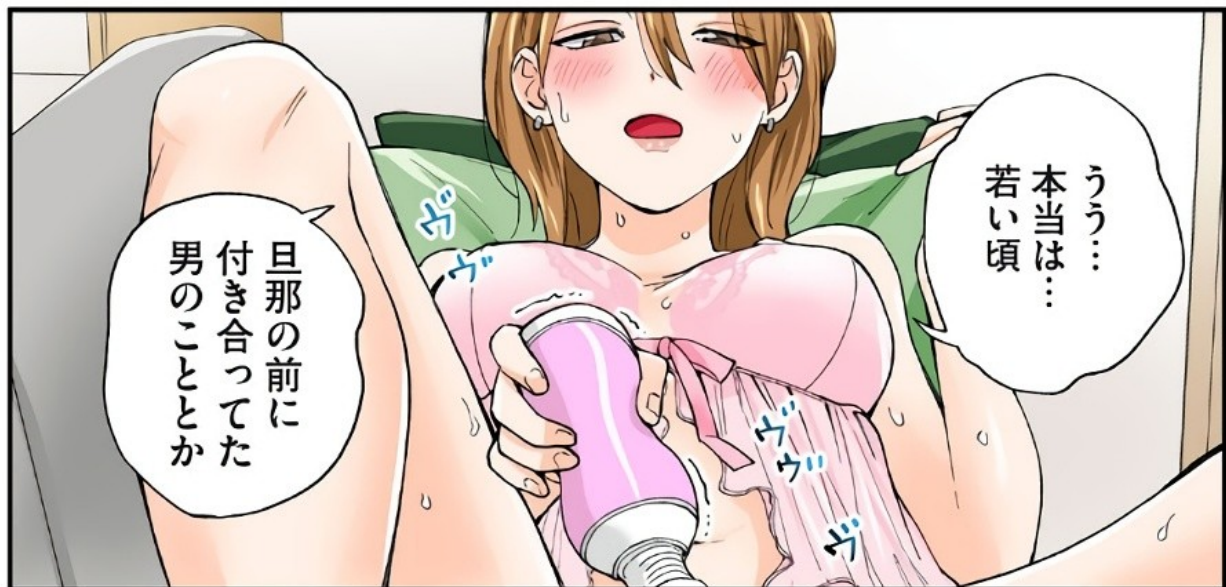
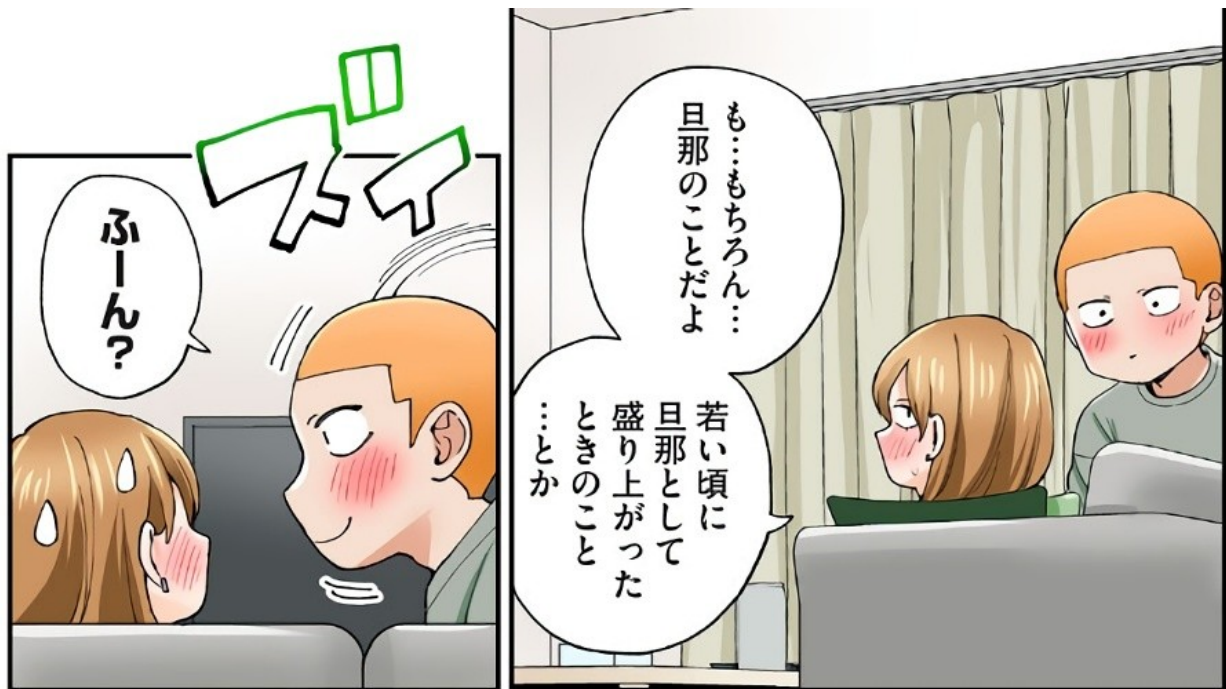




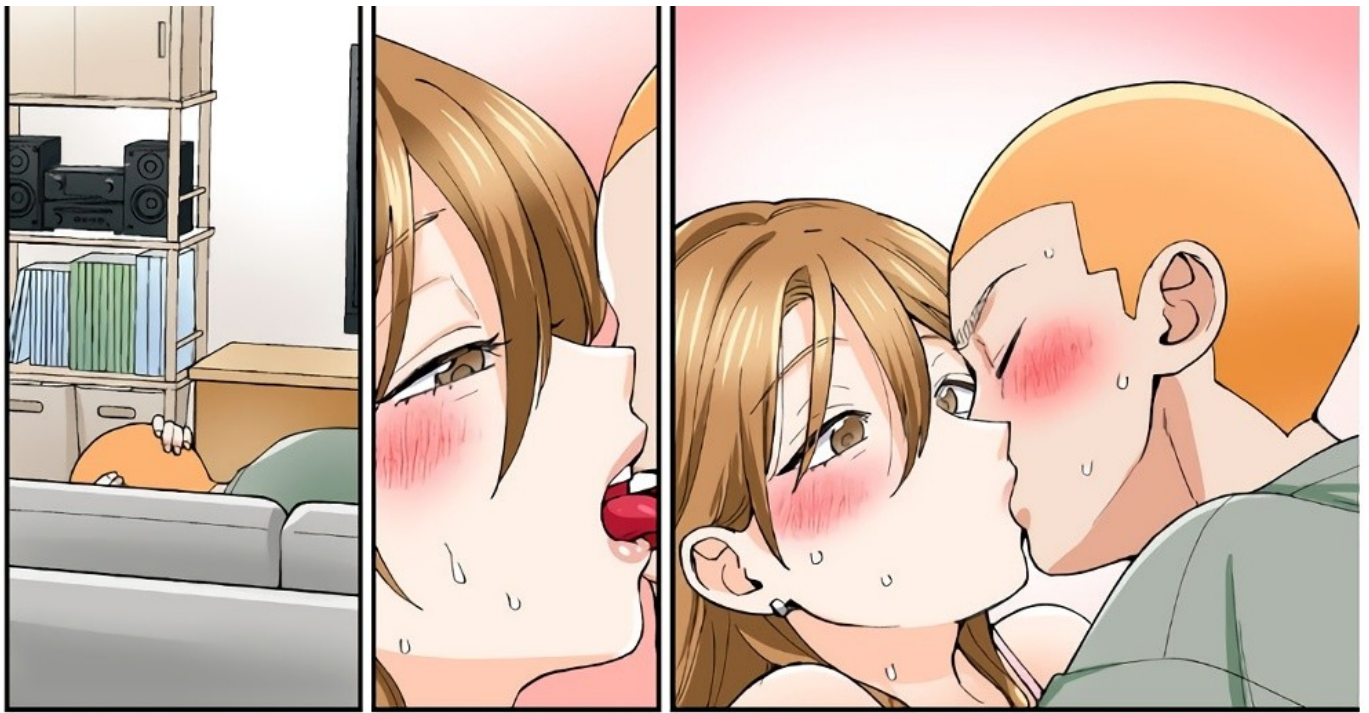




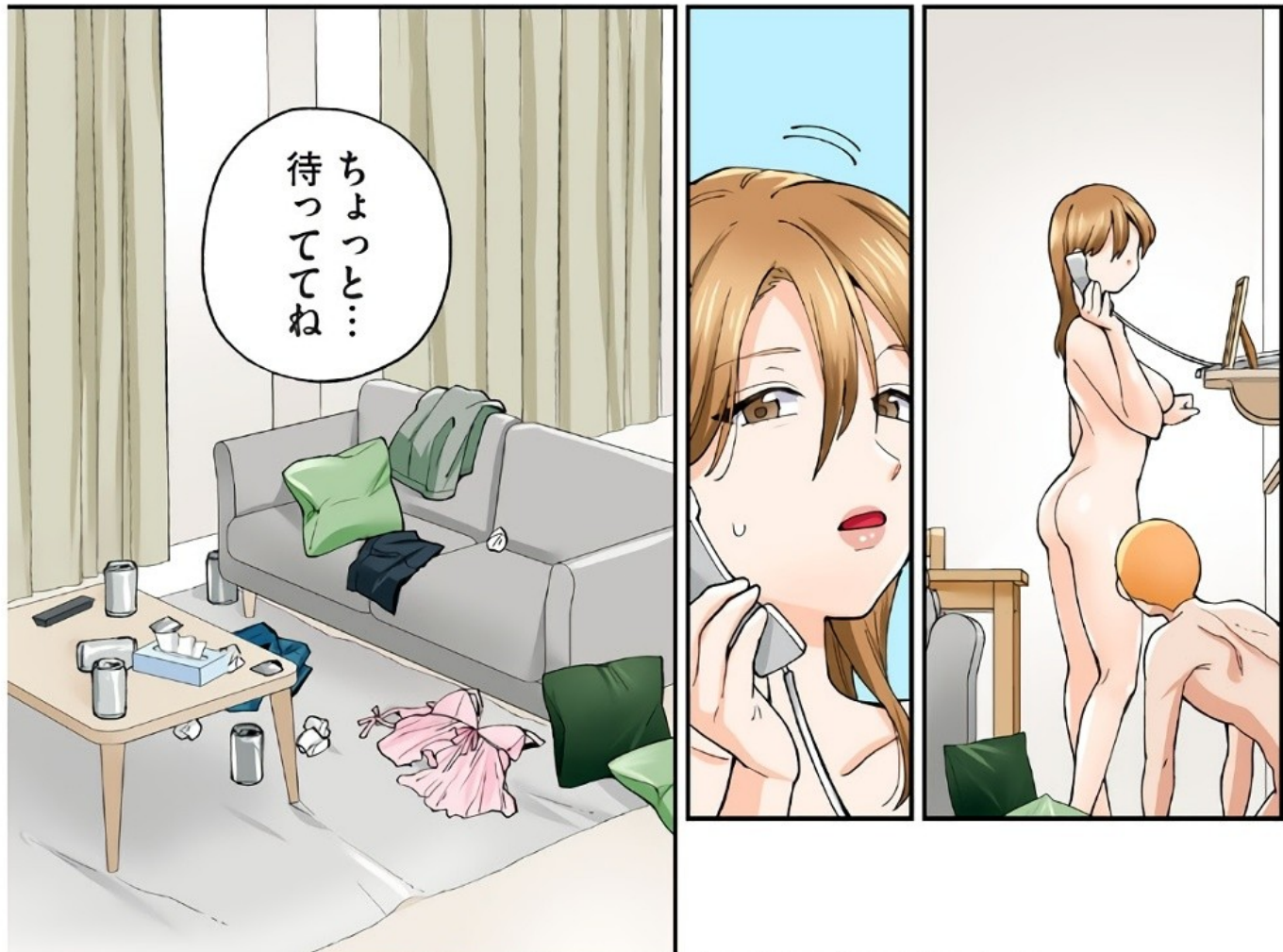
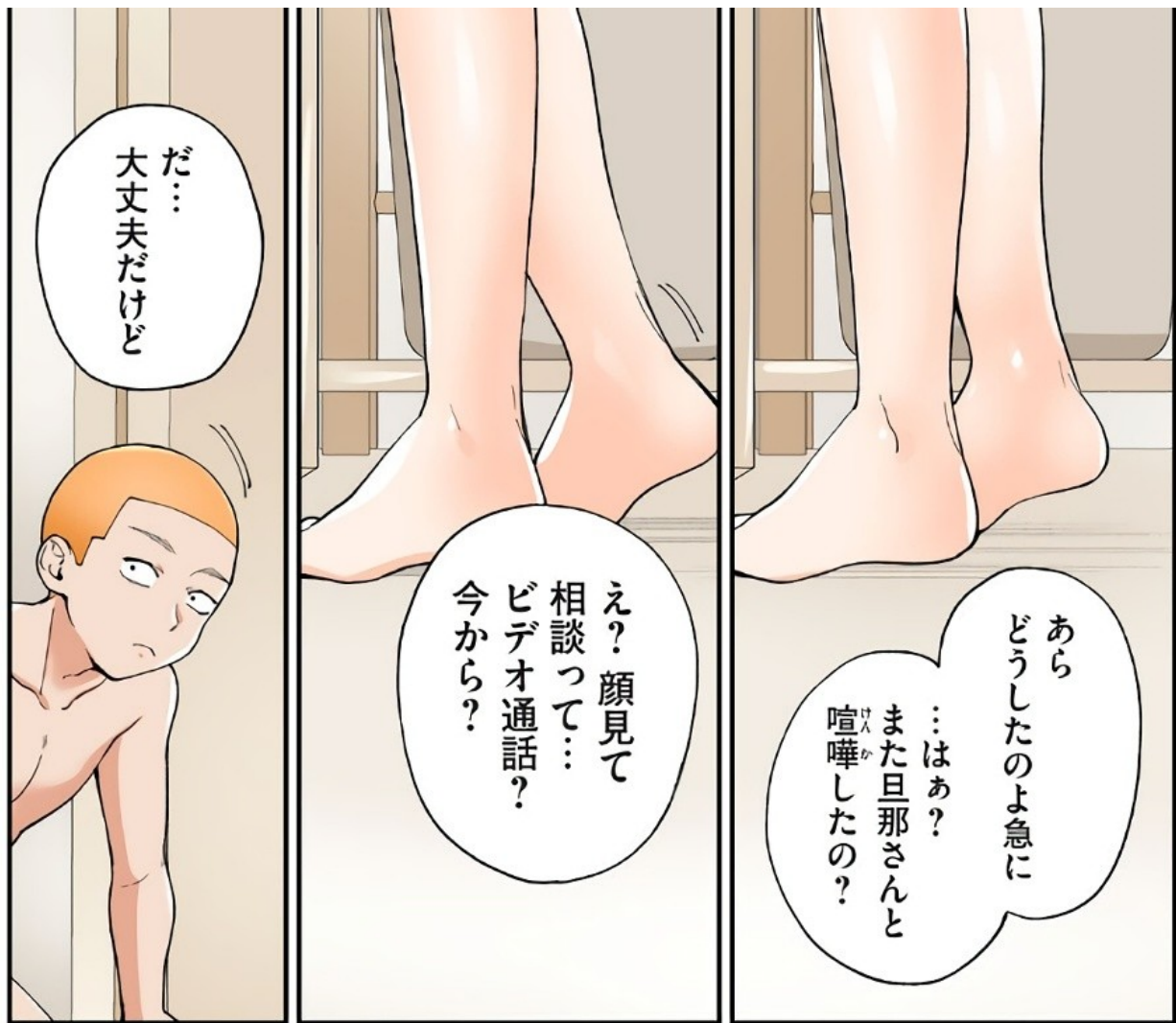






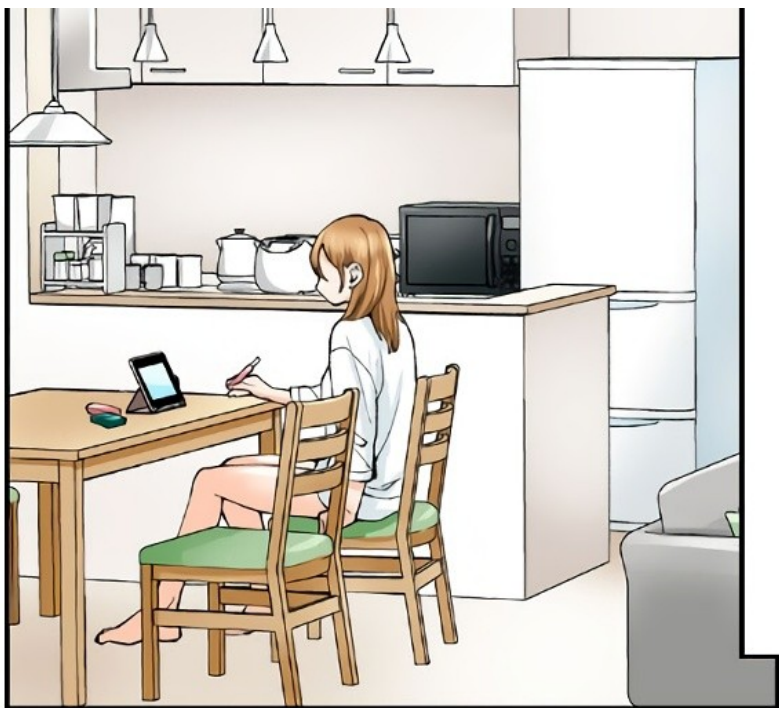








まったく…
そんなくだらない
ことで喧嘩したの？
しょうがない娘ねえ



大丈夫
許してくれるわよ
男なんて単純
なんだから



勘違いしたあんたが
悪いんだから
さっさと謝っちゃい
なさいよ

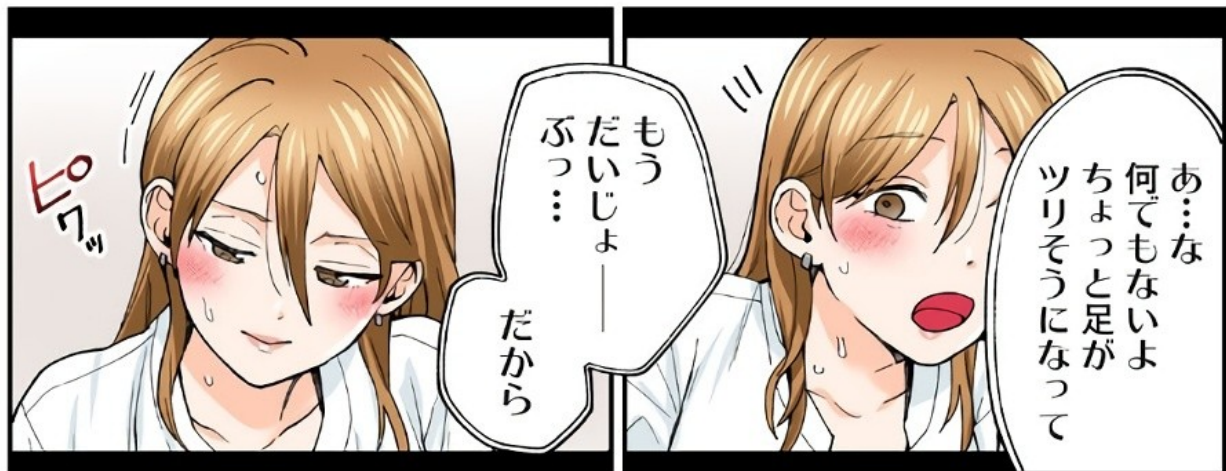


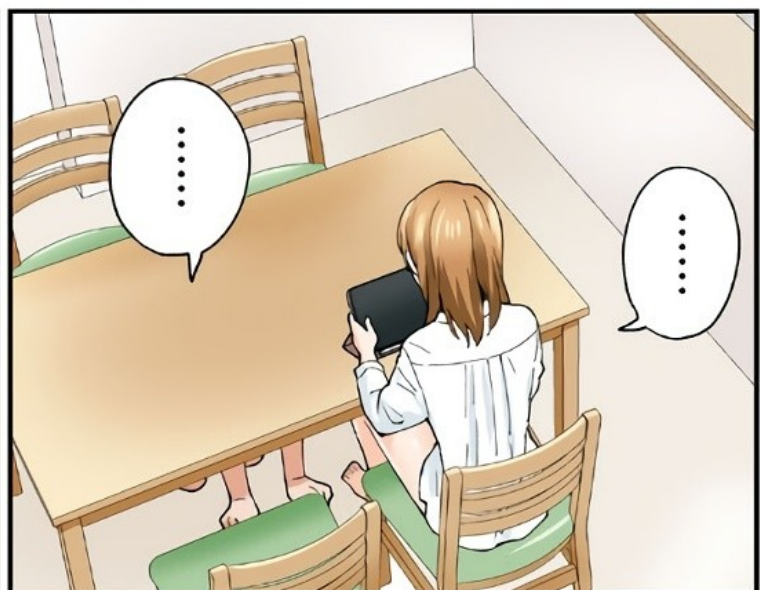
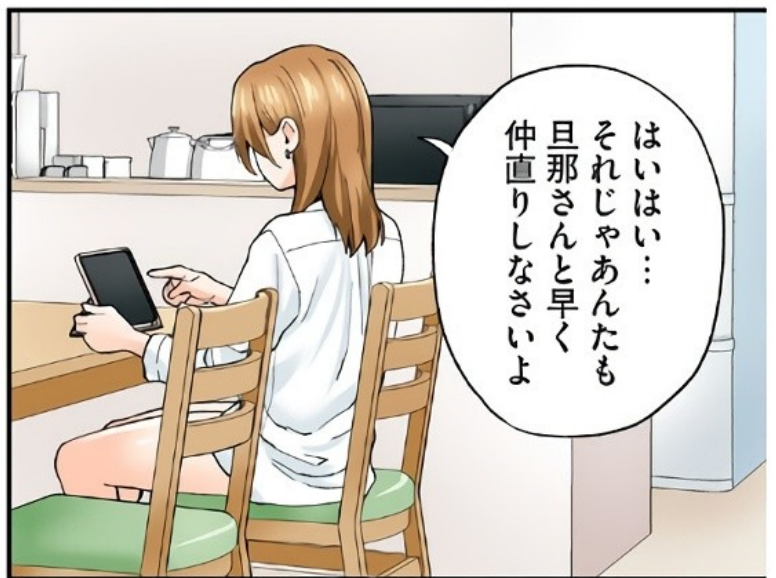
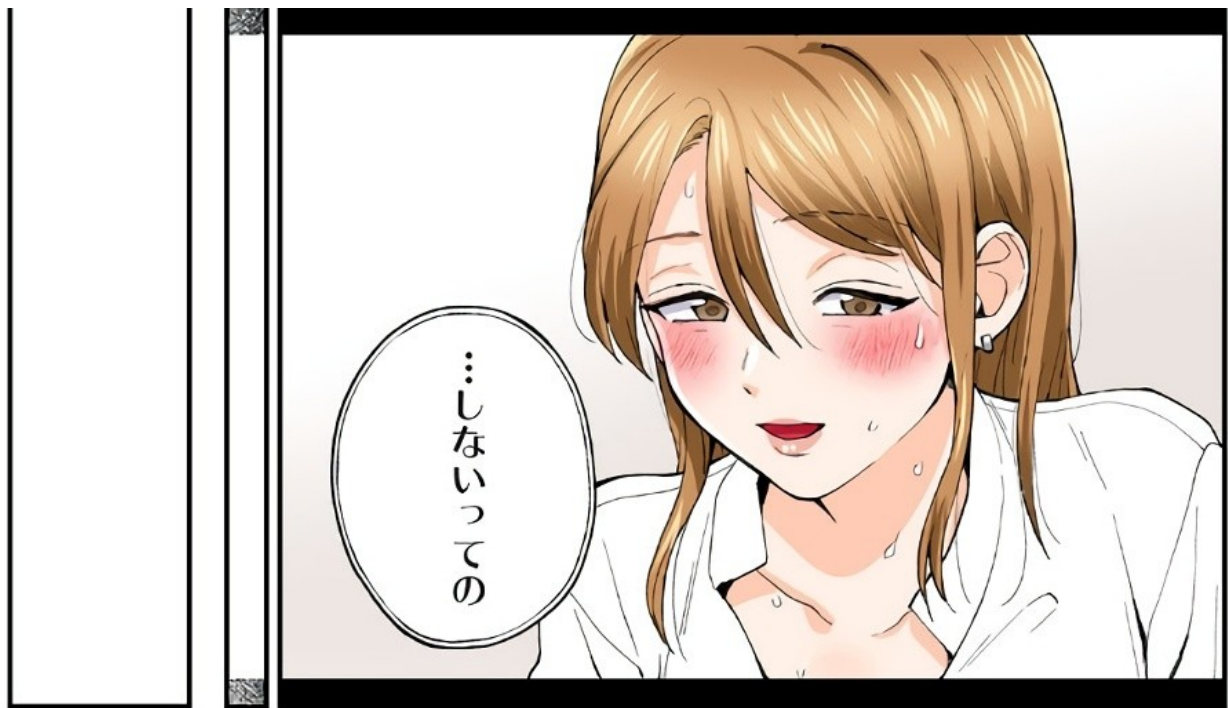
若い頃は
いつもお父さんと
そうやって—

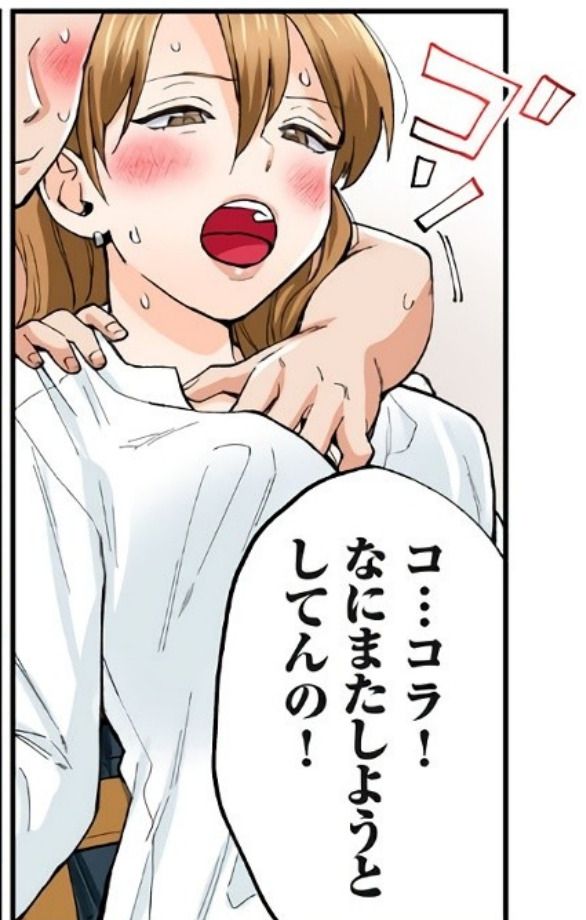


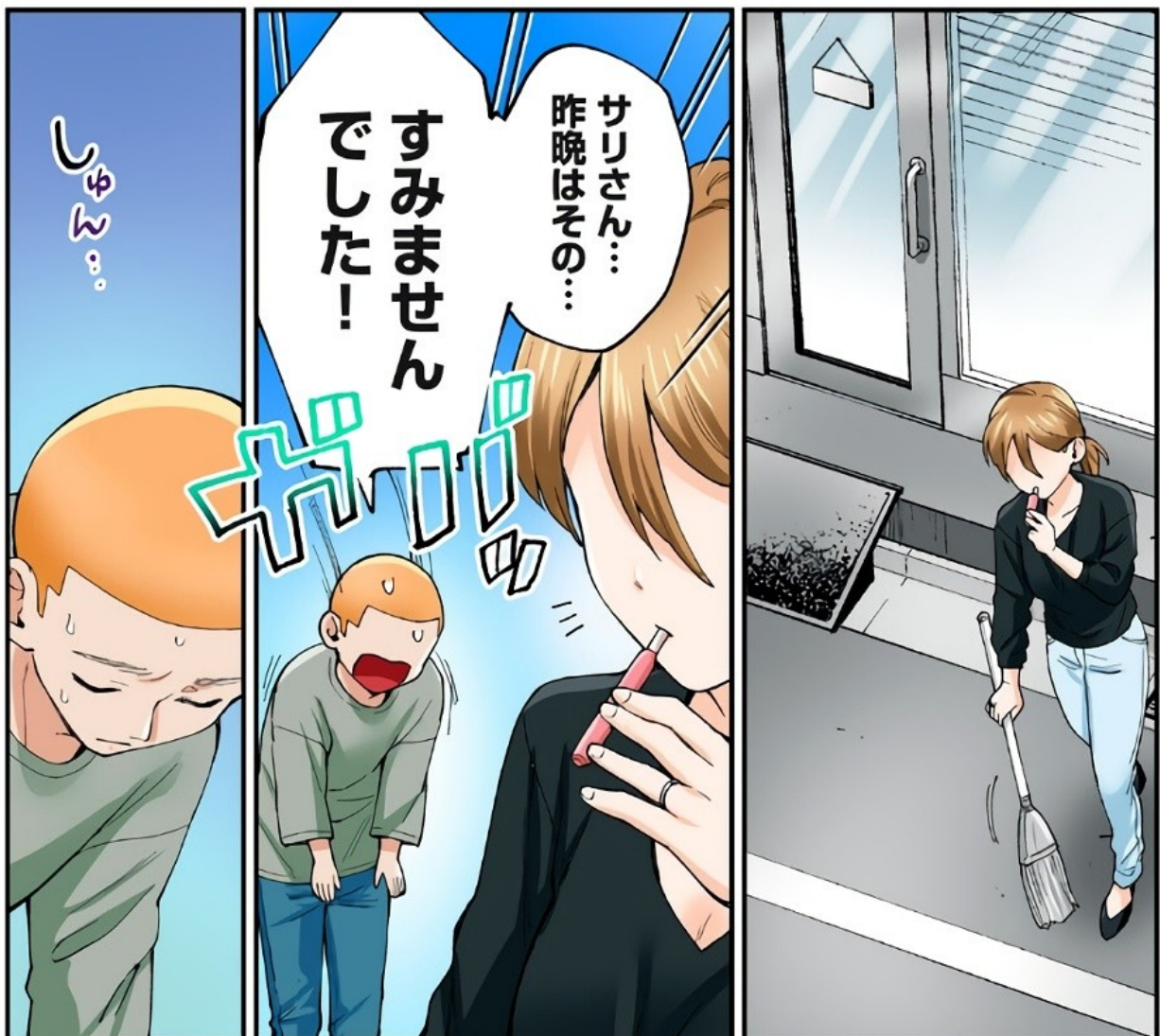
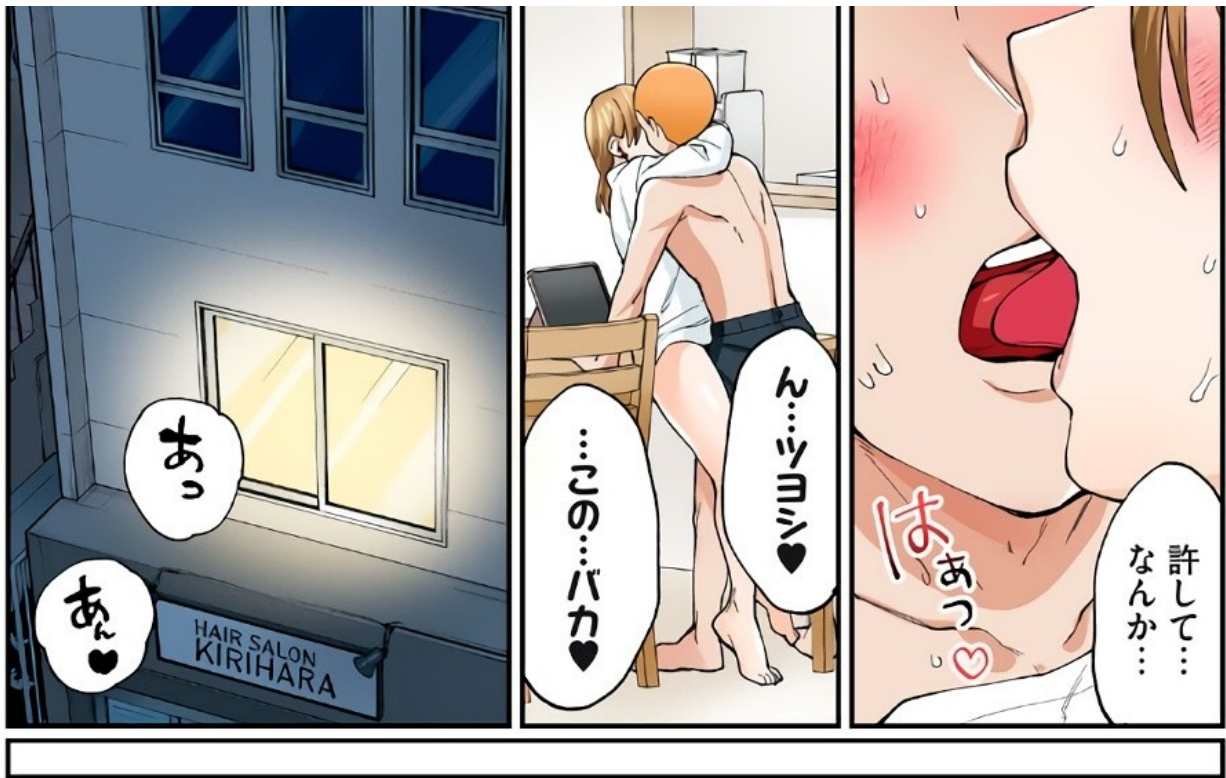
なんなら
仲直りに
エッチでも
したら？

お詫びにつて
いつもより
スケベなオネダリ
聞いてあげれば
一発よ











人妻の唇は
缶チューハイの
味がして